

未来を担う若き世代へ 「希望の種」「精神の滋養」を



話題の書籍や図鑑、SDGs 関連の本を寄贈

1974年、沖縄・西表島の竹富町立大原中学校から始まった図書贈呈運動は、本年で51周年を迎えました。一貫して、山間部や離島、災害被災地などの小・中学校や公立図書館に優良図書を寄贈。2012年からは東日本大震災で被害を受けた岩手県、宮城県、福島県などの学校に贈呈を開始し、その後も能登半島地震で被災した石川県や、豪雨災害の被害にあった地域など全国の小・中学校に1万冊以上の図書を届けました。贈られる図書は話題の書籍や図鑑、SDGs関連の本など多種多様で、さらに5年間にわたり毎年追加で最新の図書が届けられます。贈呈した教育施設は延べ1300以上、冊数は56万冊を超えました。未来を担う若き世代に「希望の種」「精神の滋養」を——創価学会の図書贈呈は国内にとどまらず、海外でも展開されています。

あなたの、あしたを、あたらしく。

創価学会